



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 NCD株式会社

上場取引所 東

コード番号 4783 URL <https://www.ncd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下條 治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 加藤 裕介

TEL 03-5437-1021

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	18,213	10.0	1,492	52.7	1,505	52.2	988	58.8
2023年3月期第3四半期	16,563	12.3	977	21.3	989	18.3	622	13.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,035百万円 (58.8%) 2023年3月期第3四半期 652百万円 (19.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	121.48	—
2023年3月期第3四半期	77.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,944	5,950	42.3
2023年3月期	12,387	5,045	40.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 5,897百万円 2023年3月期 5,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.00	—	13.00	20.00
2024年3月期	—	16.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	34.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2024年2月9日)公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	9.4	2,100	75.6	2,100	73.2	1,350	100.8	165.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2024年2月9日)公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社ジャパンコンピューター サービス 、 除外 — 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	8,800,000 株	2023年3月期	8,800,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	619,732 株	2023年3月期	728,932 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	8,134,603 株	2023年3月期3Q	8,071,068 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」という)が5類に引き下げられたことなどにより、社会経済活動の正常化が一層進み、景気は緩やかな回復傾向を維持しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、原材料の価格高騰、為替変動などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス業界におきましては、DXの進展に伴い、基幹システムのモダナイゼーション(※1)や、クラウドマイグレーション(※2)等への取り組みの加速が予想されます。当社の顧客企業においても、中長期の事業拡大を見据えた基幹システムの刷新や、セキュリティ意識の高まりなどを背景としたクラウドサービスの活用が進んでいます。また、IT人材不足の解消やBCP対策のためシステムの保守・運用業務等をアウトソーシングする動きが見られることなどから、今後もIT投資の拡大を見込んでおります。当社グループでは、引き続き人材育成や採用活動の強化などによる人的資本経営への取り組みに注力するとともに、中期経営計画「Vision2026」(2024年3月期～2026年3月期)の主要戦略として、「ITフルアウトソーシングの推進による既存顧客の領域拡大および新規顧客の獲得」等を掲げ、受注規模の拡大やコスト削減に向けたニアショア活用等を推進しています。また2023年12月には、技術力や顧客基盤の融合による企業価値の更なる向上を目指し、株式会社ジャパンコンピューターサービスを子会社化いたしました。

(※1) システムで稼働しているソフトウェアやハードウェアなどを、稼働中の資産を活かしながら最新の製品や設計で置き換えること

(※2) システムが稼働する環境を物理的な基盤(オンプレミス環境)からインターネット上の仮想基盤(クラウド環境)に移行すること

駐輪場業界におきましては、各種規制の緩和などに伴い外出機会が増え、駐輪場の利用が増加しています。しかしながら、働き方の多様化に伴う行動変容など、今後も外部環境に起因するリスクが懸念されるため、環境変化や需要変動に柔軟に対応できるビジネスモデルへの転換が必要となります。当社グループは、収益性の安定化を目指し、料金改定の更なる推進や駐輪場運営のDX化など、事業の構造改革を加速させています。さらには、市場ニーズにマッチした利便性の高い無人駐輪場や、多様なモビリティに対応する次世代駐輪場の拡大などサービスの高付加価値化に取り組んでおり、主に鉄道会社に対し、月極駐輪場「ECOPool」や新製品のキャッシュレス決済専用精算機「ES410」の導入などに注力しています。

当第3四半期連結累計期間につきましては、IT関連事業(システム開発事業、サポート&サービス事業)において業務領域が拡大したこと、また、パーキングシステム事業において駐輪場利用料収入が増加したことなどにより、前年同期比で増収増益となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、18,213百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益1,492百万円(前年同期比52.7%増)、経常利益1,505百万円(前年同期比52.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は988百万円(前年同期比58.8%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりです。

システム開発事業

保険会社の新商品のシステム開発案件や製造業の基幹システム刷新案件における業務領域が拡大し、堅調に推移したことなどにより、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、各種プロジェクト管理が順調で利益を拡大できたことや、主にアプリケーションの保守業務においてNCDサービスモデルへの移行が進み収益性が向上していることなどにより、前年同期比で大幅な増益となりました。これらの結果、売上高7,540百万円(前年同期比12.8%増)、セグメント利益1,100百万円(前年同期比48.7%増)となりました。

サポート&サービス事業

保険会社のクラウド関連等の業務領域が拡大したことなどにより、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、各種案件は概ね順調に推移したものの、前年は高収益のスポット案件があったことから、前年同期比で減益となりました。これらの結果、売上高5,350百万円(前年同期比7.4%増)、セグメント利益536百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

パーキングシステム事業

感染症に係る各種規制の緩和に加え、天候に恵まれたことにより外出機会が増え、主に時間貸駐輪場の利用が増加しました。また、引き続き自営駐輪場を中心に料金改定を推進し、駐輪場利用料収入が感染症拡大前の水準を大きく上回って推移しました。その結果、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、駐輪場利用料収入の大幅な増加を受け、駐輪場の採算性が大きく改善したことや、グループ子会社を活用した外部委託業務の内製化に努めたことなども寄与し、前年同期比で大幅な増益となりました。これらの結果、売上高5,303百万円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益1,004百万円（前年同期比56.2%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績及び足許の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,913,476	5,288,568
受取手形、売掛金及び契約資産	3,608,452	3,342,688
有価証券	-	200,159
商品及び製品	150,613	247,956
仕掛品	112,706	232,830
その他	794,741	734,775
貸倒引当金	△832	-
流動資産合計	8,579,158	10,046,979
固定資産		
有形固定資産	1,486,419	1,535,183
無形固定資産		
のれん	-	125,425
その他	239,082	218,081
無形固定資産合計	239,082	343,506
投資その他の資産	2,082,861	2,019,271
固定資産合計	3,808,363	3,897,961
資産合計	12,387,522	13,944,941
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,010,312	953,004
短期借入金	807,368	1,033,300
1年内返済予定の長期借入金	-	32,612
未払法人税等	202,865	371,766
賞与引当金	928,640	723,588
受注損失引当金	-	4,198
株式報酬引当金	125,148	-
資産除去債務	-	1,481
その他	1,811,206	2,144,790
流動負債合計	4,885,542	5,264,742
固定負債		
長期借入金	-	62,716
役員退職慰労引当金	46,753	194,000
株式報酬引当金	-	31,553
退職給付に係る負債	1,224,320	1,500,536
資産除去債務	205,205	229,738
その他	980,384	711,498
固定負債合計	2,456,662	2,730,043
負債合計	7,342,205	7,994,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	438,750	438,750
資本剰余金	954,989	1,019,556
利益剰余金	3,842,025	4,594,468
自己株式	△269,509	△229,135
株主資本合計	4,966,255	5,823,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,492	73,413
為替換算調整勘定	1,948	4,946
退職給付に係る調整累計額	△17,674	△4,418
その他の包括利益累計額合計	34,766	73,941
非支配株主持分	44,295	52,574
純資産合計	5,045,317	5,950,154
負債純資産合計	12,387,522	13,944,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	16,563,985	18,213,048
売上原価	13,677,168	14,545,621
売上総利益	2,886,816	3,667,426
販売費及び一般管理費	1,909,799	2,175,269
営業利益	977,017	1,492,157
営業外収益		
受取利息	79	3,281
受取配当金	5,422	6,410
受取家賃	10,494	12,102
その他	20,244	12,138
営業外収益合計	36,241	33,933
営業外費用		
支払利息	18,272	17,712
その他	5,469	2,808
営業外費用合計	23,741	20,520
経常利益	989,517	1,505,570
特別損失		
固定資産売却損	4,638	-
減損損失	14,185	-
退職給付制度移行損失	85,589	-
特別損失合計	104,413	-
税金等調整前四半期純利益	885,103	1,505,570
法人税等	258,593	509,040
四半期純利益	626,510	996,529
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,070	8,279
親会社株主に帰属する四半期純利益	622,440	988,250

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	626,510	996,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,096	22,920
為替換算調整勘定	3,442	2,997
退職給付に係る調整額	15,232	13,256
その他の包括利益合計	25,771	39,174
四半期包括利益	652,281	1,035,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	648,211	1,027,425
非支配株主に係る四半期包括利益	4,070	8,279

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ジャパンコンピューターサービスの全株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を2023年12月31日としており、当第3四半期連結累計期間においては貸借対照表のみ連結しております。